

佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 竹下孝英



会員各位

年度末を迎え、学校予算・旅費等の決算事務、卒業式、人事異動事務等忙しい日々が続きますが、会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。佐事研だよりも、本年度は本号をもって最後となります。1年間のご愛読ありがとうございました。

平成十三年度 第二回 理事会について(要旨)

平成14年3月7日(木)にアバンセにおいて開催されました、第2回理事会の内容について報告いたします。

1. 経過報告

12/6の第4回理事研修会以降の活動経過報告が、事務局より行われました。

2. 各専門部の活動報告と反省について

各専門部から、今年度の活動報告と年間反省について報告がありました。

研究部からは「共同実施」の実施方法の研究、標準的職務一覧表の具体化のための研究、「事務の手引き・給与編」の改定作業、事務職員の進むべき目標策定にむけての「第1次佐事研ビジョン」について各班の活動報告がありました。研修部からは事務処理能力向上を目指して行われた、夏季テーマ別研修の内容や課題について、調査広報部からは各種アンケートやホームページの移転に関して報告がありました。

3. 平成14年度佐事研活動計画について

第12回大会(春季)は5月22日(水)アバンセで開催される予定です。内容は 川久保副知事の講演 総会 研究部から佐事研ビジョンの1次発表 神戸事務研会長の木村信哉様に「阪神淡路大震災、その時事務職員は(仮題)」という演題で講演となっています。また、大会準備については各専門部、事務局間で大会冊子作成の原稿、締切り日について確認が行われました。

第13回大会(秋季)は、第12回大会後の理事会で話し合いを行うことが確認されました。

4. 平成14年度役員体制について

新年度の第1回理事会において承認する役員の確認が行われました。また、各地区研選出役員の確認では研修部、調査広報部の選出を少人数の地区はやむをえない事情があるときは、欠員にすることになりました。

5. その他

次回、平成14年度第1回理事会は、4月18日(木)13:30~アバンセで行われる予定です。

== 鹿児島事務研究大会に参加して ==

鹿児島事務研究大会に参加された有明町立有明東小学校の小柳靖子さんに感想を述べていただきました。以下、原文どおり。

2月の1年間で最も寒い中、九州の最南端の県での開催ながら会場は大勢の参加者で埋まり、我々が直面

アクセス! (<http://www2.saganet.ne.jp/kskwc/>)

している共同実施と事務の効率化の問題が改めて大きなものであることを実感しました。

1日目は全体会からの参加でありましたが、清原正義氏が共同実施を進めていく上で学校事務のあり方とはなれた定数改善はありえない。学校の自主性、子供の自立性に対応した学校事務をどう構築していくかが必要であると述べられました。また学校事務職員の意識改革の必要性として、職員の定数確保のためには、学校がこれだけ良くなるのだということを、きちんと外に根拠をもって示すべきだとも述べられました。その後会場からは学校評価のこと、職務標準の通達にかかる我々の学校運営の参画についての質疑・討論が活発になされ、清原氏は学校・教職員評価の大きな点は、目標管理制度の導入であり、すなわち学校運営に目標を設定し、外部に透明性・公平性・客観性がきちんと説明されなければならないと、例えば学校長が年度初めに教育課程、施設、校務分掌の運営目標の方針を内部の職員だけでなく、保護者・地域などにもはっきり示すべきであるそうです。また、討論の話の中で他の府県の事務職員の人員配置の実状（大阪の府費・市費職員、広島県の県費・市費職員との関係）を話されたのは現実を知る上でも、情報源として多くの人と交流をする場に参加できて良かったと思います。

2日目は分科会として実際の事務処理の効率化の研究としての共同実施の実践報告がなされ、研究指定を受けてからの話や実践していく上での問題、宮崎県佐土原町の共同実施との比較についてなどを苦労話を交えながら話されました。私自身の町でも今までに定期的に月1回ペースで書類点検や情報交換、会合の事前打ち合わせ等を合同でやってきた経緯がありますが学校事務全部の仕事における組織的なものではなく、ほとんど処理的なものに終わっていたのではないかという気がします。ただ、1日目での討論にも挙がりましたが、共同実施イコール職員の定数削減につながるのではないかといった意見もあり（私も心の中では同じことを考えていたのですが・・・）、実際に研究を立ち上げていく上で事務職員個々の考えの違いや各地域の温度差があるのも事実であり、最初に共同実施を行う地区は試行錯誤の連続だろうと思いました。これから私たちは学校に必要な存在として何ができるか、外部・社会に対してそれをどう説明できるかといったことが要求されると思います。鹿児島県をはじめとした共同実施の研究活動を十分に生かし、事務職員の存在意義を知らしめなければならないと思いました。

開発ソフト研修会を受講して

去る2月19日（火）に、佐賀市のアバンセにおいて「開発ソフト研修会」が行われました。去年のサマーセミナー、その後11月に手渡されたCD-ROMを手直した改訂版が配布され、旅費・給与事務マクロとHYPER学校事務の手引きの使用方法について説明がありました。今回の改訂版はハードディスクに保存ができるようになり便利になりました。この佐事研だよりが配布される頃には何らかの形でみなさんのお手元に届くと思いますので、「手引き編」のインストールの手順をお知らせしたいと思います。（旅費・給与事務マクロは再度修正するそうです。）

HYPERS 佐賀県学校事務の手引き（2002年2月19日CD-ROM版）の「手引き編」のみをハードディスクにインストールする方法（手順）

ハードディスクの必要な容量は約30MBです。

CD-ROMをセットする前にデスクトップの何も無いところでマウスを右クリックして「新規作成」「フォルダ」を選択します。

デスクトップに「新しいフォルダ」が作成されます。

「新しいフォルダ」の上で右クリックして「名前の変更」を選択して、フォルダの名前を「事務の手引き」と変更してください。

デスクトップに「事務の手引き」

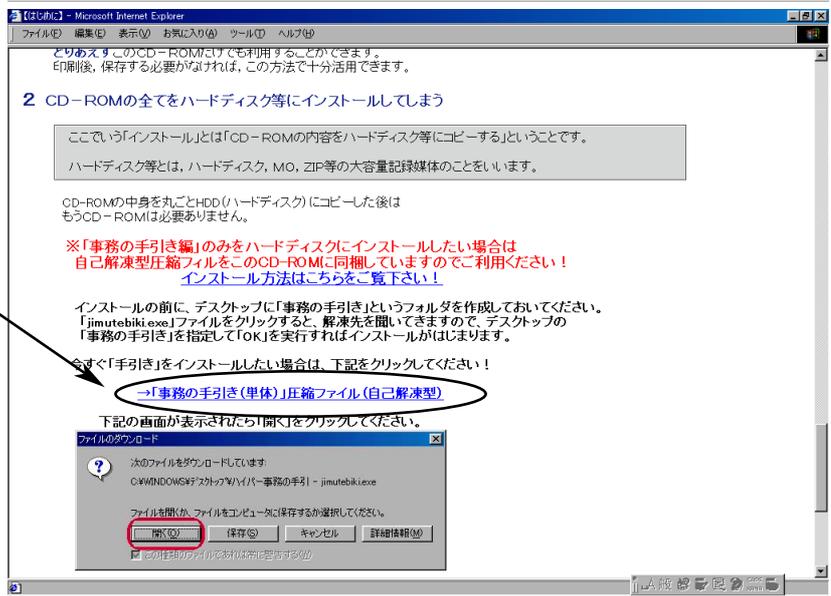
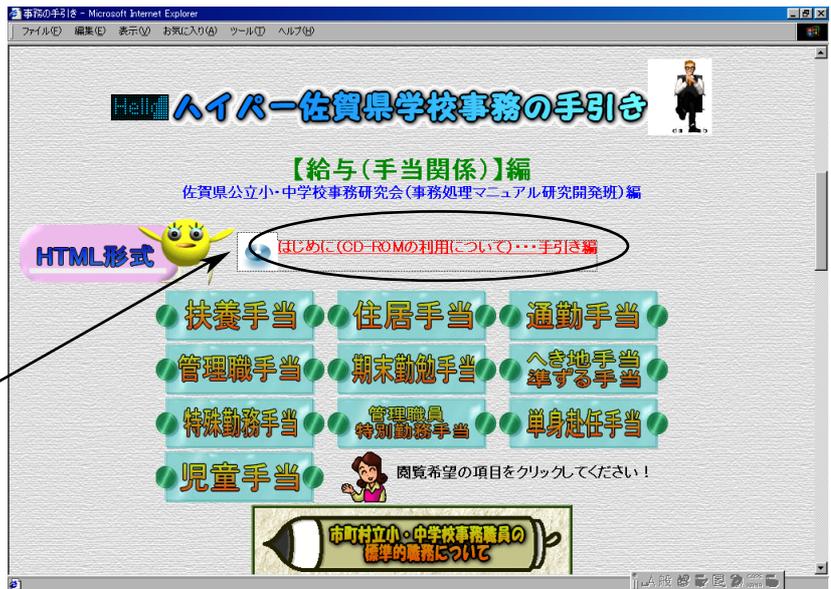
アクセス！ (<http://www2.saganet.ne.jp/kskwc/>)

というフォルダができたなら、次に事務の手引き (CD-ROM) をドライブにセットします。しばらくすると右のようなトップ画面が表示されると思います。

トップ画面が表示されない場合は、CD-ROMの「index.htm」というファイルを開いてください。

はじめにをクリックして右の画面から「事務の手引き圧縮ファイル」をクリックしてください。

ファイルのダウンロード画面が表示されますので「開く」を選択してください。



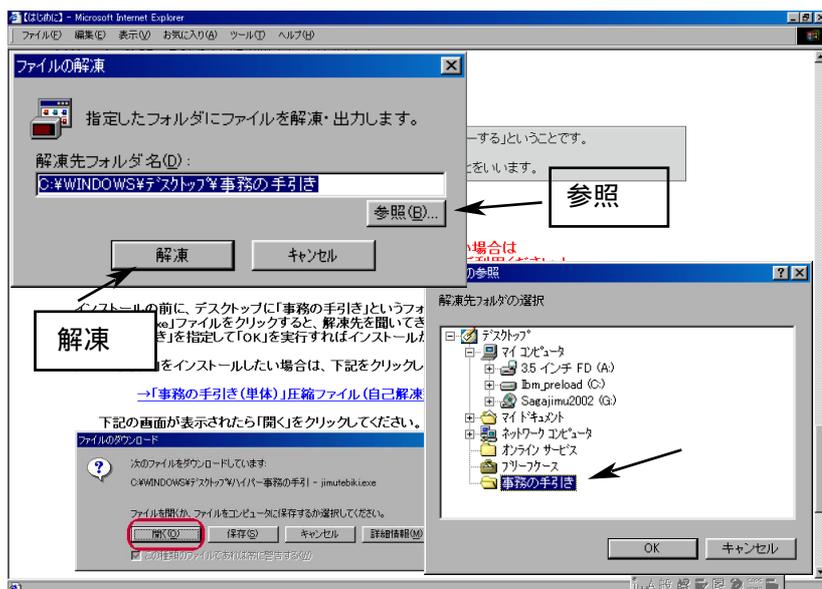
圧縮ファイルの解凍先を聞いてきますので、「参照」をクリックして、デスクトップの「事務の手引き」

を選択して「解凍」ボタンを押してください。

解凍が終わったら事務の手引きのウィンドウを閉じて、デスクトップの「事務の手引き」フォルダをクリックして開いてください。

「index.htm」というファイルをダブルクリックして開いてください。

トップページが表示されますので「ファイル」「送信」「ショートカットをデスクトップへ」を選択してブラウザを閉じてください。



デスクトップに「事務の手引き」というアイコンができていることを確認してください。

以上の作業で事務の手引きのデータはすべてパソコンのハードディスクにインストールされました。あとはデスクトップの「事務の手引き」をクリックするだけで閲覧することができます。

『ちょっと教えて……』

私(北方中)の学校では、来年度(14年度)の予算要望で、現在使っている生徒用の机、イスが20数年前に購入したもので古く、かつ傷みも激しいので新規に購入を計画しています。ところが、机のサイズで困った問題が……。現在使っている机のサイズは、縦(60cm)横(40cm)の大きさを使っているのですが、数年前より縦(65cm)横(45cm)のひと回り大きなサイズの規格の物が販売されたとのこと。なんでも教科書等の教材類がA4サイズになったのに合わせて机の上に2冊横に並べておけるらしいです。しかしこのサイズだと40人すれすれのクラスでは縦か横かにもう1列増やしてやらなければならないらしく、今のうちの教室の広さ(縦840cm・横840cm)ではかなり教室の端々まで詰めて置かないといけないみたいです。以前にサイズの規格改正の文書も発行されたらしく、現在の児童生徒の体位向上も考えると大きい方の机を配置してやりたいのですが、後述の写真でもわかるように他校の40人のクラスでは、教室の後ろの方が扉の隣りまでぎっしり詰まっており、前の方は黒板の近くまで迫っています。単純に数百人規模の学校生徒全員分を買い換えると何百万円もの買い物になり、最低でも10年くらいは使用しな

アクセス! (<http://www2.saganet.ne.jp/kskwc/>)

いといけませんので簡単に決断することもできずに現在(2月13日)まで至っています。予算要望の前には近くのあちこちの学校にも問い合わせしてみたら、たまたまクラスが35人くらいの学級が多く(大きい規格でも今までの列でおさまるらしい)、その他の学校は元の規格の机を入れていたりしていました。また先生や生徒の間でも、教材が大きくなったんだから机もそれに合わせるべきだという意見や、反対に机の中に物をいれたら女性では持ち運ぶのが重いという意見などもあり様々です。このたよりが発行される頃にはどちらにするかの方向づけができていると思いますが、県内の皆さんで同じような経験がえられる方は、例えば教室の中のどここの部分を削ったら大きい規格の物でも入ったとか、ここのメーカーの机はこんな特徴があったなど小さなことでも結構ですので、北方中もしくは佐事研のホームページなどで教えて下さい。

北方中メールアドレス hokuchuu@cablone.ne.jp (北方中 寺尾)



Info.

他県の大会の情報が入ってきましたので、お知らせをいたします。これはあくまでも予定であり、事務局は対応しておりませんので、何卒ご了承ください。

大会等	期日	会場等
宮崎大会	14/10/24(木)~10/25(金)	高千穂町
熊本大会	14/10/29(火)~10/30(水)	熊本市

重要 4月1日より佐事研ホームページを教育センターへ移転する予定です。HPアドレスは、わかり次第皆さまにお知らせします。よろしくお願いいたします。

§おじゃまします§

伊万里市教育研究会事務職員部会

伊万里市は佐賀県の西北部に位置し、人口約6万人、面積は約255平方キロメートルあり、県下で最も広い市域を有しています。

伊万里の名所として鍋島藩窯公園、イマリンビーチ(海水浴場)、黒澤明記念館サテライトスタジオ、カブトガニの繁殖地で有名な多々良海岸などがあります。特産品としては伊万里焼、伊万里梨、伊万里牛などが全国的に有名です。(伊万里市役所のホームページにもいろいろな情報が掲載されています。ぜひアクセスしてご覧ください。)

市内には小中学校が24校あり(うち併設校1校)、事務部会は小学校16名中学校7名の計23名で構成されています。

今年度は「学校事務の開拓と充実」という研究テーマでパソコン研修を行いました。パソコンの習熟度に個人差はありましたが基礎からやってみようということで、ワード・エクセル・インターネットの研修をし

アクセス! (<http://www2.saganet.ne.jp/kskwc/>)

ました。パソコンに不慣れな人はパソコンの便利さ・楽しさが発見でき、日頃使いなれた人にも「こういう使い方(技)があるんだ」という新しい発見があったようです。

各学校でも地域イントラネット等でパソコンの整備が進んでいます。私たちの仕事にも積極的に活用できるようにになりたいと思っています。

伊万里市教育研究会事務職員部会の皆さまです。



<お役に立つかなコーナー> エクセル編

今回の紙面の余白を利用したのコーナーは、金種計算です。最近、金種計算をすることが少なくなりましたが、旅費が振込手数料の関係で現金扱いをされているところもあると思います。参考になれば幸いです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		金額	10,000円	5,000円	1,000円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
2	佐賀拓也	99,999	9	1	4	1	4	1	4	1	4
3			C 2 のセルは=INT(B2/10000)								
4			D 2 のセルは=INT(MOD(B2,10000)/5000)								
5			E 2 のセルは=INT(MOD(B2,5000)/1000)								
6			F 2 のセルは=INT(MOD(B2,1000)/500)								
7			G 2 のセルは=INT(MOD(B2,500)/100)								
8			H 2 のセルは=INT(MOD(B2,100)/50)								
9			I 2 のセルは=INT(MOD(B2,50)/10)								
10			J 2 のセルは=INT(MOD(B2,10)/5)								
11			K 2 のセルは=INT(MOD(B2,5)/1)								
12											